



No. 108

ティー・ブレイク

## Tea Break

### 3Mix-MP法 (3Mix-MP Method)

東北地方は宮城県、宮城県の仙台市に宅重歯科医院という歯科医があり、そこに行くと3Mix-MP法という術法を使って、痛みを伴わず、かつ、1回の治療で完璧に虫歯が治る、という方法で歯科治療が行われている。当然のことながら人気が高く、他の歯医者では「抜くしかない」と言われたものでもたった1日で完治してしまうのであるから、他県からの来訪者も多く、たいていの場合、予約制の時間の通りに行っても、3時間以上待たされるのが常である。

とにかく、何回も行かずに済み、たった1回の治療で治るのであるから、それこそ旅行のつもりだと思ってわざわざこの歯医者に来る人間は後を絶たないのである。ちなみに、今申し込んでも、2ヵ月待ちである。患者からすれば、いかにその2ヵ月間を平穩無事に過ごすかということだけを考えればよく、いずれにしても完璧に治るのであるから、我慢して待ち続けるのである。

この3Mix-MP法というのは、要するに、歯の削りを最小限に抑え、患部となっている象牙質の部分に、全ての虫歯菌を殺傷する抗生物質を置き、その全体を覆ってしまうという方法である。最小限に削るというのは、要するに、神経の無いエナメル質の部分だけを削り、神経の通っている象牙質の部分には手を触れないということである。

神経の通っている象牙質に触れないのであるから、痛みは全く伴わない。そして、痛みを発している象牙質の部分というのは、実は、堅い固体状のエナメル質とは異なり、細いパイプが多数集まったようなものであるから、そこを虫歯菌が侵食すると、神経が痛み、最悪の場合にはその細い管を通して歯茎まで達し、歯根の部分に膿を作り、これが「抜かねばならない」とされている症状のひとつなのである。

しかしながら、この3Mix-MP法によれば、抗生物質を置くことにより、それが象牙質の細い管の中を通過して次々に殺菌が行われていき、殺菌が行われた結果、その象牙質の再生が起こり、健康な歯に回復するのである。ちなみに、3Mix-MP法の3Mixは3種の抗生物質を混合したという意味であり、この3種の混合された抗生物質

により、虫歯菌の完全な殺菌が行われるのである。この虫歯菌の完全な殺菌というものが行われるのが、この方法のミソであり、この3種の組み合わせによって全ての虫歯菌が死滅するといったような効果が発見されたことにより、この方法が確立されたのである。

ところが、こうしたきわめて有効な治療法が全国に普及しないのは、単に歯科医師会の旧勢力からの強い抵抗があるためである。これは、「痛くなければ治療ではない」というような固定観念に基づくものと、「1日で治るような治療法を確立されてしまったら、自分たちの仕事なくなる」といったような考えによる抵抗であり、これによって多くの患者が、歯医者を逆に敬遠し、ひどくしてから初めて通うといったような現象を引き起こしているのである。

けれども、院長の宅重先生いわく、「歯医者というのは、従来から今に至るまで、単なる歯の修理屋であった。けれども、歯科医師というのは本来、口腔内の全ての症状に対するコンサルタントでなければならない」というのがポリシーであり、現に、この宅重歯科医院は、痛くない治療と親切な施術により、ここに通ってくる患者の30%が、ただ単に「悪いところがあったら見てください」と言ってくる定着客であり、その率は増加しているようである。

こうしてみると、いかがであろうか。この方法を適用したからといって、果たして歯医者に来る客というのは減るのであるだろうか。ここの読者の皆さんとしても、床屋や美容院に行くがごとく、ちょっと気になったから行ってみる、というような歯医者があったときに、皆さんはどのように行動するのであるだろうか。

これを翻って我々の業界について考えた場合に、我々の事務所は、果たして敷居が高くないのであろうか。口汚く言う人は、我々のことを特許庁に対する単なる代書屋と呼ぶが、果たして我々は、知的財産権に関する総合的なコンサルタントとして気軽に足を運べるような状態にあるのかどうか、仙台からの帰りの新幹線の中でつくづく考えさせられたのであった。 (正)